

## 4月1日から土壤物理学会事務局の連絡先が変わります

現在の学会事務局の任期終了に伴い、4月1日からそのメンバーが替わります。それに伴い、土壤物理学会事務局の連絡先が下記のように変更になります。

〒833-0041 筑後市和泉496

九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域内

庶務幹事 中野恵子

Tel. 0942-52-0681 Fax 0942-53-7776

E-mail [spsyomu@ml.affrc.go.jp](mailto:spsyomu@ml.affrc.go.jp)

## 4月1日からの原稿投稿先について

現在の学会事務局の任期終了に伴い、4月1日から編集委員会のメンバーが替わります。土壤の物理性への原稿の投稿先は下記のようになります。

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

三重大学大学院生物資源学研究科共生環境学専攻 土壤圏循環学教育研究分野内

編集委員長 取出伸夫

Tel. 059-231-9588 Fax 059-231-9684

E-mail [kibyosi@ml.affrc.go.jp](mailto:kibyosi@ml.affrc.go.jp)

## 編集委員会からのお願い

「土壌の物理性」への投稿数が減少傾向にあります。この2年間に掲載された論文・研究ノートの総数は18報（6報の特集記事を含む）であり、1号あたりの平均は3報です。内容と質に魅力のある誌面を継続し、より活発な研究発表や情報交換の場となることを目指して、以下二点に関するご意見を編集委員会（kibyosi@ml.affrc.go.jp）までお願いします。

### 1) 特集および講座について

実用的なテーマや興味深いトピックを取り上げた特集や講座を掲載することは、今後の発展の上で特に重要と考えます。130号では、「センサー特集」を計画しています。「古典を読む」、「JpGU 特集」、「モデル特集」については、改めて検討し、今後も継続したいと思います。その他、今後取り上げて欲しい特集や講座について、幅広くご意見ください。

### 2) 投稿区分の新設について

「土壌の物理性」15号より続く「土粒子」は、「土壌の物理性」周辺のことについて随想や意見の場として定義されています。近号では、滞在記やホームページ紹介、若手会員による国際学会報告なども掲載してきました。今後、「土粒子」の枠では収まりきれない会員間の情報共有の場として投稿区分の新設を提案いたします。呼称は、編集委員会ではたとえば「土壌圏」といった案が出ていますが、呼称についてもご意見下さい。

# 128号の訂正とお詫び

土壌物理学学会編集委員長

JpGU 特集 斎藤らの論文「熱応答試験実施時間の短縮がみかけ熱伝導率推定に与える影響: 数値的研究」において下記のような誤りがありました。お詫びいたしますとともに訂正をお願いいたします。

Fig. 2 図番号 (a), (b) が落ちていました。

